

9/28(日)16:30～ 入場無料 チャペルコンサート Vol.34

秋風を感じる頃となりました。今回は畑儀文さんの歌をお届けします。



畑 儀文
(テノール)

兵庫県篠山市生まれ。大阪音楽大学大学院修了。1979年大阪にて、小林道夫氏の伴奏による初リサイタルを行う。以後宗教曲のソリストとしてドレスデン国立歌劇場管弦楽団ホルン奏者ベーター・ダム氏との共演、イエルクテームス氏の伴奏による数多くのリサイタル等で大きな成果をおさめた。91年オランダ・アムステルダムにおいてバロック歌手マックス・ファン・エグモントのもとで研鑽を積み、以後13年間オランダ各地でバッハの受難曲のエヴァンゲリストをつとめた。「大阪文化祭賞」「咲くやこの花賞」「兵庫県文化賞」など受賞。丹波の森国際音楽祭シューベルディアたんば音楽監督。



安田 哲也
(オルガン)

オルガンを津田能人氏、太宰まり氏、フランス・ボーン氏、ゴードン・ターク氏に、リードオルガンを故曾山一夫氏に師事。畑儀文氏出演の「フライブ」(サンTV)にて、同氏の伴奏を担当する。また、2005、06年、兵庫県立芸術文化センターにて行われたコンサート「畑 儀文 日本のうた」にて、リードオルガンでの同氏の伴奏を担当する。以後、同氏のオルガン伴奏を多く担当する。日本基督教団東梅田教会奏楽者。神戸ユニオンチャーチ奏楽者。

教会からのオススメの一冊

横田早紀江著「ブルーリボンの祈り」(フォレストブック)

1977年11月15日、横田めぐみさんが失踪した日から30年以上も、愛する娘の帰りを待ち続ける横田早紀江さんは、ご自分の体験と心境を手記に託して語ります。彼女の静かな姿勢と決して揺らぐことのない信念の根源は、神さまでした。めぐみさんが失踪してまだ半年も経たない頃、いくら探しても娘が見つからず、すっかり疲れ果て、失意のどん底にいた彼女に、友人から聖書が手渡されました。「ヨブ記を読んでみて」。そう薦められてふと読み始めた彼女は、みるみるうちに引き込まれました。そこに描かれていたのは、災難の中で全てを奪い取られながらも、その中で神さまを信じ続け、神さまと出会うヨブの姿でした。苦難の中にも神さまがおられる。まさに青天の霹靂でした。やがて、クリスチャンとなった彼女は、北朝鮮による拉致という事実が明るみになり、娘の所在と生死にまつわる情報が二転三転する中にもあっても、神さまを信じる姿勢を貫きました。そればかりか、事態が困難になるにつれて、信仰を深めていったのです。今もなお、早紀江さんは神さまを信じながら、娘の帰りを待っています。

「主は与え、主はとられる。主の御名はほむべきかな。」
(聖書 ヨブ記)



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル 0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。

ポッドキャストでも配信！
ホームページから利用できます。

プログラム

- カッチーニ “アヴェ・マリア”
- シューベルト “万霊節の連禱”
- ドボルジャーク
聖書の歌より “主は、わが牧者なり”
- アメージンググレース
- 前奏曲 “世界中の父や母を”
(ヴォーン・ウィリアムズ曲 オルガンソロ) 他

INFORMATION 1

第33回 阪神女性の集い
10/9(木)10:15～ 入場無料
於・西宮アミティホール

今年は、横田早紀江さんをお招きします。

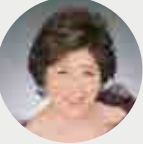
入場には整理券が必要となります。当教会へお問い合わせ下さい。



INFORMATION 2

工藤篤子賛美コンサート Vol.5
10/19(日)16:00～ 入場無料
於・当教会

地中海ソプラノ歌手・
工藤篤子さんの心温まる
コンサートです。



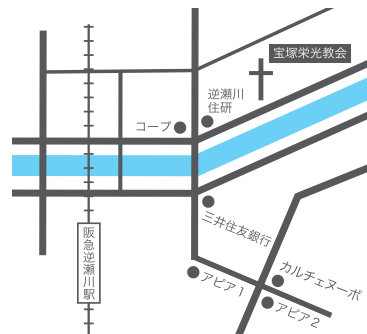
ケアプラン
デイサービス

オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」
☎:0797-73-6055

「デイサービス オリーブの実」
☎:0797-73-6077

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。



助けは主から

幸せでありたい、というのは、私たち全ての願いです。幸せを願わない人は誰もいません。何が私たちを真に幸せにするのでしょうか。お金でしょうか。名誉や地位でしょうか。

財産があっても、心に安らぎがない人はたくさんいます。また、高学歴を持っている人が、とんでもない犯罪を犯す例を私たちは見えています。真の幸福は、お金や名声からは来ないのです。では、どこから来るのでしょうか。

聖書の言葉に耳を傾けてみましょう。「私は山に向かって目を上げる。私の助けは、どこから来るのだろうか。私の助けは、天地を造られた主から来る」(詩篇121篇1、2節)。私たちの救い、私たちの幸せは、この天地を創造された生ける神から来るのです。

天地を創造された神とは、なんとスケールの大きい神でしょうか。しかも、この生ける神は、目があっても見ることができず、手があっても助けることができない

偶像とは違います。私たちの悩み、苦しみをつぶさに見てください。私たちを罪と滅びから救い出してくださるお方です。

罪とは、私たちの心が本当の神様から離れていることです。私たちは、天地を創造されたまことの神様を知らず、知ろうともせず、自分勝手な歩みをしてきました。人に対しても冷淡で、傲慢で、邪悪な思いを持つのは、まことの神様から離れていることが原因なのです。その結果、私たちは皆滅ぶべき者となっています。

神様はそのような私たちのためにキリストをお送りくださったのです。キリストは、罪のないお方でしたのに、私たちに代わって十字架にかかって死なれました。私たちが自分の罪を悔い改め、キリストがこの自分のために十字架にかかってくださったと信じるなら、誰でも、どんな罪でも赦され、救われます。この救いをいただいた者が、幸いな者なのです。

あなたも、天地を創造され、キリストを十字架におかけになるほど私たちを愛してくださった本当の神様を信じて、救いをいただきませんか。そして、本当の幸いを受け取りませんか。



被災地のハマギク

「浜菊」

太平洋沿岸の 砂浜では
どこにでも咲いている ハマギク

夏の海水浴場の 浜辺で よく見かけた 花だ
海の賑わいの 前には 影の 薄い花だった
人の目を引く 華やかさは ないが
素朴な白い色が 印象的だった

もしかしたら この花も 足で踏まれたり
手荒な扱いを 受けたかもしれない
だがハマギクは いつ見ても 空を向いて 咲いていた
大空を見上げる 明るい力を 秘めていた

あの大震災の後 何もなくなった 砂浜で
まっ先に咲いたのは ハマギクだったと 聞く

海浜植物だから 根や地下茎を 砂中に 深くのぼしていたのだ
強い日射しにも 乾燥にも 強い塩分にも
耐える力を 持っていたのだ

そして年毎に こうして 咲き続けている
人は 小さな花に 励まされ 教えられていく

いかに幸いなことでしょう
弱いものに 思いやりのある人は
災いのふりかかるとき
主はその人を 逃れさせてくださいます
主よ その人を守って命を得させ
この地で 幸せにしてください
貪欲な敵に 引き渡さないでください
主よ その人が病の床にあるとき 支え
力を失って伏すとき 立ち直らせてください

(聖書)